

式辞

春の光あふれる今日の佳き日に、霊峰石鎚に見守られたこの養正が丘において、西条市長玉井敏久様をはじめ、多数の御来賓の皆様方の御臨席を賜り、平成三十一年度愛媛県立小松高等学校入学式がこのように盛大に挙行できますことは、本校関係者一同この上ない喜びであります。御来賓の皆様方に厚くお礼申し上げます。

また、保護者の皆様方には、今日の日を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。お預かりしました大切なお子様の教育に、私たち教職員一同、誇りをもって全力を尽くして取り組んで参ります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、ただ今、本校への入学を許可いたしました百三十九名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんの入学を、在校生、教職員一同、心から歓迎いたします。

小松高校は、創立百十二年目を迎えた歴史と伝統を誇る学校です。皆さんは、本日より第一歩を踏み出し、小松高校の伝統にページを加えていくこととなりますが、これからの3年間、有意義な高校生活を送るために、次の三つのことをしっかり考え、実行してほしいと思います。

一つ目は、「夢を持つ」ことです。その夢は、先の長い生涯をかけての夢でも、少し努力すれば手が届きそうな目標でも構いません。人は、常に夢や目標を持ち、それに向かって努力することで、成長することができます。幸いにも、本校には、充実した施設・設備があり、そして何よりも、素晴らしい指導者である先生方がいます。毎日の授業はもちろん、受験勉強、資格取得、部活動、そして趣味の世界まで、たくさんのチャンスがあります。このチャンスに、自ら積極的にチャレンジして夢を掴んでください。すべては夢を持つことから始まります。

二つ目は、「積微力行」です。この言葉は、本校の校是で「小さなことの積み重ねが大切であり、労を惜しまず励み努めなさい」という意味です。どんなことでも、成し遂げるためには、毎日コツコツと努力し、根気強く積み上げていくことが大切です。この高校生活に与えられた三年間、また一日二十四時間という時間はすべての人に平等に与えられています。この時間をどう過ごすか。それはすべて自分次第です。夢の実現のために、「積微力行」を実行してください。

三つ目は、「思いやりを大切に」ということです。中国の老子の言葉に「言葉の中の思いやりは自信を創ります。思考の中の思いやりは深遠さを創ります。与えることの中の思いやりは愛を創ります。」という言葉があります。私は、人が幸せに生きていくために最も大切なことは「思いやり」だと考えています。相手の気持ちや、立場に立って考えること。行動すること。クラスの友人、先輩、そして先生方、地域の方々、様々な人との触れ合いの中で、心を磨き、鍛え、認め合い、尊敬し、思いやりの心を育てていってください。

最後になりますが、小松高校はこの四月三日、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受けました。地域の方々の御協力をいただきながら、地域課題の解決等に向けた探究的な学びについて、研究・実践を行います。ライフデザイン科を中心に行いますが、地域をよく知り、地域を愛し、お世話になっている地域に貢献することは、次代を担う高校生にとってとても大切なことです。普通科も合わせて全員で一緒に学び、成長して行きましょう。

それでは、新入生の皆さんの三年後のたくましい成長を心から期待して式辞といたします。